

京都薬科大学

Visual Identity ガイドライン

2021年7月1日制定

Visual Identity（VI）とは、企業や公的機関等の広報活動において、その組織が持つ個性・特性や独自性を、統一されたイメージで社会に発信することによりブランドを高めていく企業戦略のことで、その運用方法も含めてVIS（Visual Identity System）と言われることもあります。

本学においては、校章（ケシの果実を図案化）や校旗を制定した記録があるものの（1995年12月の理事会承認）、スクールカラー（えんじ色）は慣習的に使われている色を使用するなど、ブランディングやVIに関して明確な規定がありませんでした。

そこで、大学の広報戦略に統一感を持たせるため、VI（Visual Identity）ガイドラインを策定しました。今後のロゴ等の使用については、本ガイドラインに沿う形で活用してください。

なお、ロゴ等の使用に関して本ガイドラインに定めのない方法で使用を希望する場合は、企画・広報課にて、その適切性を都度判断するものとします。

校章等データダウンロード

京都薬科大学の職員が使用できる校章等のデータは、Garoonに掲載しています。使用に際しては必ず最新のデータをダウンロードの上、ご利用ください。

なお、本URLに掲載していない形式のデータが必要な場合は、企画・広報課までご連絡ください。

<https://kyoto-phu.cybozu.com/g/cabinet/index.csp?sp=0&hid=271>

著作権について

本VIガイドラインに記載されている校章等の著作権は学校法人京都薬科大学にあり、「学校法人京都薬科大学 校章等規程」に反した使用や、使用申請が必要な場合における無断での使用は禁じられています。使用に際して、ご不明な点があれば、必ず事前に企画・広報課へお問い合わせください。

1. VIの基本要素

校章（シンボル）

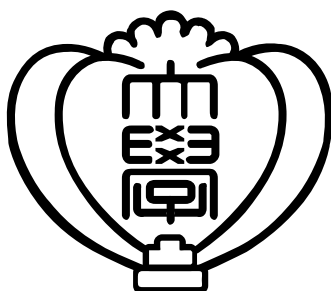
ギリシャ神話に、Kolchis 国の Hekate の娘 Medea とその使徒達 Pharmakides が薬草をもって神に奉仕していたという物語があります。この故事により、薬品を Medicus と言い、薬学を Pharmazie と呼ぶようになりました。薬草のケシ（Papaver somniferum Linne、Opium、Poppy）は地中海の沿岸、小アジア、イラン地方の原産であり、その未熟果実より採取されるアヘンは、古く止しゃ薬として、またアルコール抽出物は鎮痛・鎮静・催眠薬として服用されていました。

1805年頃、ドイツの薬剤師 Serturmer がアヘンよりモルヒネを抽出し、純粋な結晶として単離しました。このモルヒネもまたギリシャ神話に登場する“夢の神 - Morpheus -”に因んで命名されました。このモルヒネは強力な鎮痛作用を有することが判明し、現在【クスリの王様】と呼ばれ、医療の場において絶大な効力を示しています。また、アヘンはコデイン、ノスカピン、パパベリン等のアルカロイドも含み、それらの成分もまた強力な鎮咳・鎮痙薬として使用されています。

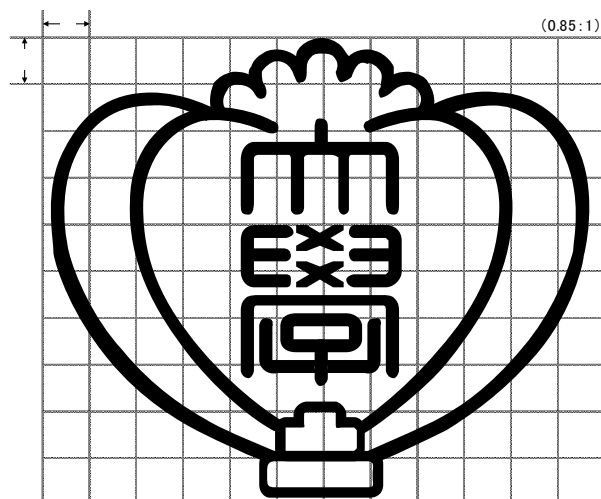
本学の校章は、Pharmazie の Ph の文字をギリシャ文字Φに置き換え、それにケシの果実を配し、図案化したものです。本学はこの校章のもとに、人類の健康に寄与する“クスリ”というものを深く究明し、優れた薬学士、薬学者および薬剤師の養成に努めています。

■シンボルの単独使用も可能

シンボルは、公式の旗やバッチなど、ロゴタイプと切り離して単独で使うことができます。



■バランス規定



ロゴタイプ（大学名）

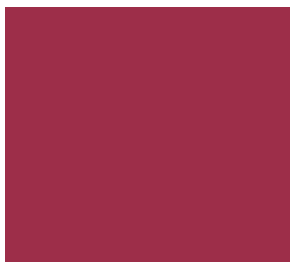
ロゴタイプには、和文と英文があります。和文は、シンボルの形状にあわせてオリジナルの書体をデザインしています。英文のロゴタイプはTimes New Romanという書体を用いています。ロゴタイプは単体で使用することも可能です。シンボルと大学名を併記する場合は、相互の調和を保つために常にこのロゴタイプを用います。

京都薬科大学

Kyoto Pharmaceutical University

スクールカラー

京都薬科大学を象徴する色をスクールカラーとして定めています。シンボルを始め、レイアウトなどに、このカラーを効果的に使うことにより「京都薬科大学らしさ」を表現することができます。



印刷指定色（特色）	DIC233
印刷基本4色掛け合わせ	C39/ M100/ Y60/ K0
RGB	R157/G46/B73
HTML	#9D2E49

※印刷する素材によって色味が微妙に異なるため、表示する媒体や印刷機器等の違いにより表示色に誤差が生じた場合は、数値の調整を行う。

タグライン

2018年に、第3期中期計画の重点項目である「京薬ブランドを高める広報活動」の一環として、ブランドイメージの検討を行い「社会を動かす薬学へ。」が京都薬科大学のブランド・ビジョンとして制定されました。このブランド・ビジョンをタグラインとして、オリジナルの書体でデザインしています。タグラインをシンボルロゴとセットで使用する場合は、オリジナル書体のタグラインとのセットで用いますが、タグラインのみで表示する場合はこの限りではありません。

使用開始：2018年12月3日

使用終了：中期計画の完了年度毎に検討する。

■「社会を動かす薬学へ。」使用の方針

- ①大学が実施するイベントなどで制作・使用するもの、または広く内外に公開・配付する広告物・冊子等、広報的な意味を有するものに使用する。
- ②式典や校舎外壁など、永続的に使用する可能性が高いものには原則使用しない。ただし、大学のブランディングにおいて必要と認められた場合は使用可能とすることがある。
- ③英字の大学名にタグラインは使用しない



シンボルとロゴタイプの組み合わせ（シンボルロゴ）

シンボルとロゴタイプのセットは、和文水平型、英文水平型、和文垂直型、和文英文水平型の大きく4種類の組み合わせを用意しています。これら以外の組み合わせで使用する場合は、その都度、企画・広報課まで確認が必要です。

A シンボルと和文ロゴタイプを水平方向に組み合わせたタイプ



B シンボルと英文ロゴタイプを水平方向に組み合わせたタイプ



C シンボルと和文ロゴタイプを垂直方向に組み合わせたタイプ



D シンボルと和文及び英文ロゴタイプを水平方向に組み合わせたタイプ



スクールカラーのシンボルロゴへの適用

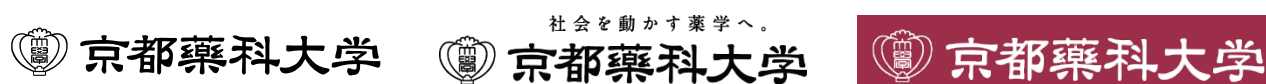
シンボルロゴにスクールカラーを適用する場合は以下の配色を用います。

単色の場合には黒、スクールカラー、白を適用できます。

スクールカラーを用いた基本配色



単色の展開（背景がスクールカラーまたは濃い色彩の場合は白抜きで使用）



シンボルロゴの基本類型と用法まとめ

- どの用途でも使用できる
- 背景が白や淡色の場合に視認性が高い
- 部局などの名称とは切り離して使用



- ブランディングや広報的意義の高いものに使用
- 主に和文ドキュメントで使用
- 背景が白や淡色の場合に視認性が高い
- 部局などの名称とは切り離して使用



- 主に英文ドキュメントで使用
- スクールカラーを指定して使用も可
- 部局などの名称とは切り離して使用



- 主に和文ドキュメントで使用
- 刊行物の背表紙など縦書きが適切なものに使用
- 部局などの名称とは切り離して使用



- 背景がスクールカラーや濃い色彩の場合に使用
- 部局などの名称とは切り離して使用



アイソレーション

アイソレーションとは、他の文字や図形を配置してはならない不可侵領域（余白）です。この範囲には文字や図形などを重ねたり表示したりしないでください。

アイソレーションの設定は、各ロゴタイプの高さ a （縦型ロゴタイプのみ横幅）に 0.3 を乗じた幅としています。



最小使用サイズ

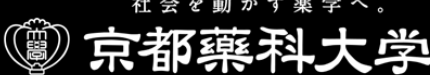
各VI要素の最低限の視認性を確保するため、これより小さいサイズでは使用しないでください。

最小使用サイズであっても印刷方法等により見え方が異なる場合があるため、必ず視認性を確認してください。



背景色に応じた表示方法

各種ロゴタイプは、白背景にカラーで表示することを優先しますが、薄い色の背景でもカラーで表示することが可能です。背景が濃い色の場合は、白単色で表示します。下図の例を目安として、適切な表示を行ってください。

0%	
10%	
20%	
30%	
40%	
50%	
60%	
70%	
80%	
90%	
100%	

使用に関する留意事項

■ロゴタイプの書体変更は禁止

シンボルとロゴは、それぞれ京都薬科大学のアイデンティティを表す役割を持っています。大学名を明記する場合において、ロゴタイプは基本的に他の既成のフォントで代用することはできません。シンボルと組みあわせずにロゴタイプで使う場合においても同様です。

また、シンボルとロゴのどちらにおいても、縦横比率や余白（アイソレーション）の変更を行うことは禁止します。ただし、後述するアプリケーションにおいて、大学名の表示としてではなく、デザインの一部として使用する場合、企画・広報課にて協議の上、例外的に認められることがあります。

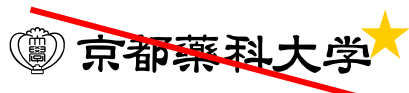


■その他の禁止例

- ・変形変倍、縦横比の変更はできません。



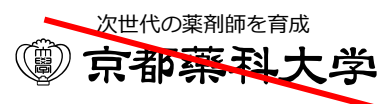
- ・シンボルロゴ、ロゴタイプの付近に他要素の追加はできません。



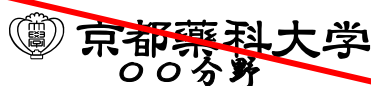
- ・規定外の配色はできません。



- ・定めのないタグライン等は付記できません。



- ・和文・英文とも、シンボルロゴ、ロゴタイプに「京都薬科大学」以外の文字を加えることはできません。ロゴタイプと同じ書体であっても使用はできません。



■大学院や所属（分野名等）の記載方法

シンボルロゴの余白に重ならないよう、右側または下部にロゴタイプとは異なる書体で記載します。



2. アプリケーション

以下のとおり、公式アプリケーションを作成しています。

封筒・手提げ袋・名刺は庶務課、レターヘッド・ポスターテンプレート・プレゼンテーションテンプレートは企画・広報課が管理し、必要に応じて提供・公開します。

これらの物品を含め、大学ロゴ等を使用したアプリケーションについては、各部署または個人での作成はできません。ただし、大学公式グッズ（企画・広報課）または入試広報グッズ（入試課）として作成する場合は、事前申請により使用許可されたものについて作成することができます。

なお、封筒、手提げ袋についてはサイズ違いの作成を管理担当部署により行うことがあります。

■封筒（角2・長3）

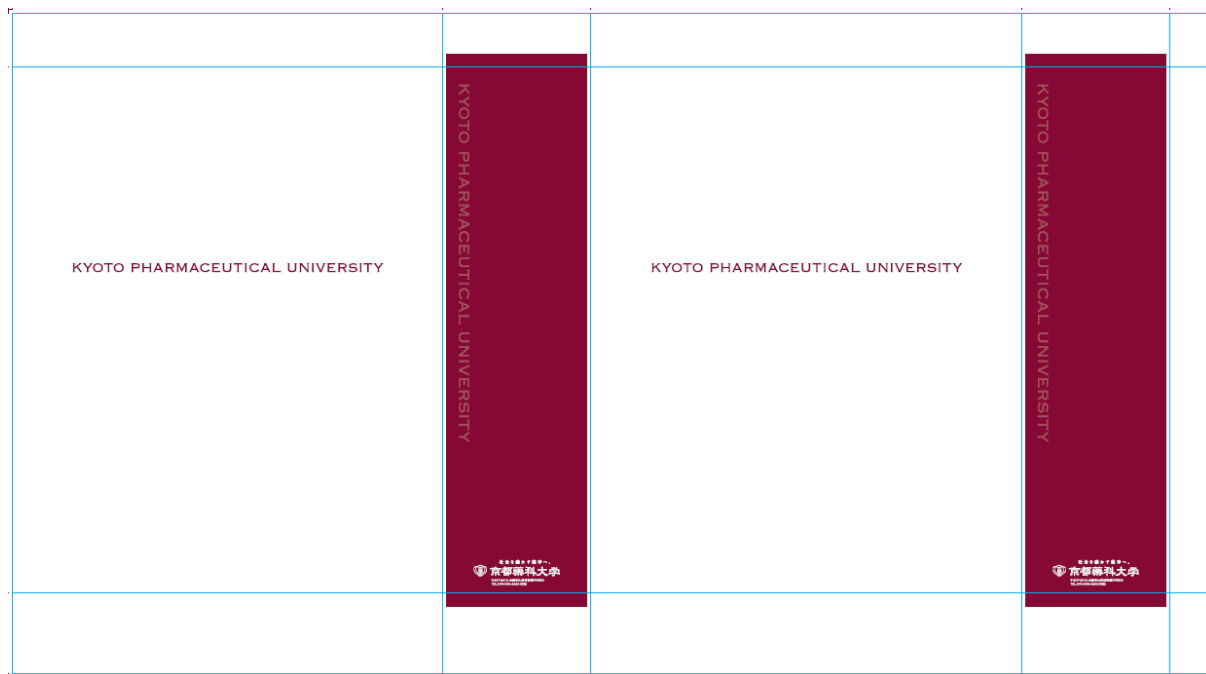
タグライン入りロゴを使用。各部署名等を記入する場合は大学名右側余白または住所右側余白に記入する。



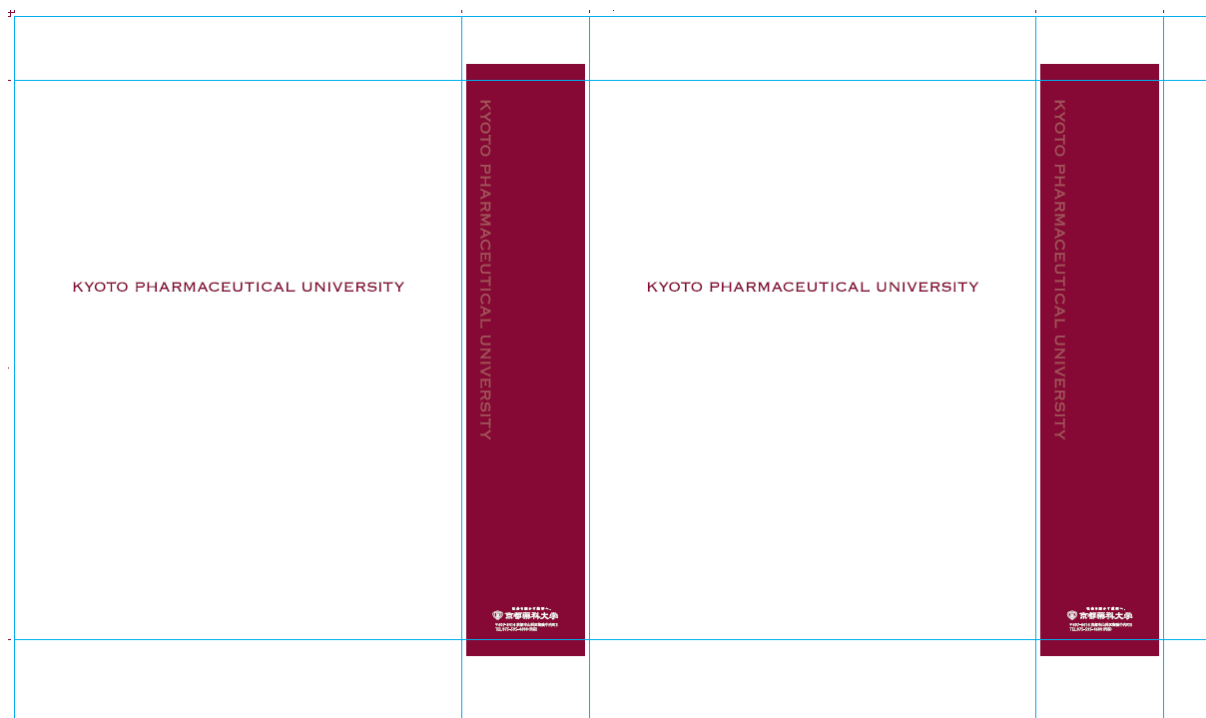
■手提げ袋（大・小）

側面にタグライン入りロゴを使用。

（大）巾320×高さ390×マチ110mm



（小）巾280×高さ350×マチ80mm



■名刺

左上にタグライン入りロゴを使用、背景デザインに校章を配置。

名刺は庶務課にて作成されたものを使用し、各部署または各個人での作成はできません。

（教育職員用）

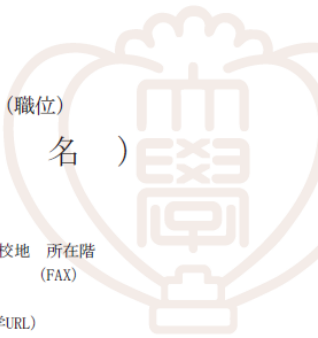
社会を動かす薬学へ。

 **京都薬科大学**

(系)
(分野・センター) (職位)

(学位) (氏 名)

(その他資格等①)
(その他資格等②)
(住所) 本校地or南校地 所在階
(電話) (FAX)
(E-mail)
(研究室URL or 大学URL)



（事務職員用）

社会を動かす薬学へ。

 **京都薬科大学**

(所属) (職位)

(氏 名)

(その他資格等①)
(その他資格等②)
(住所)
(電話) (FAX)
(E-mail)
(大学URL)



（学校法人を記載する場合）

学校法人 京都薬科大学

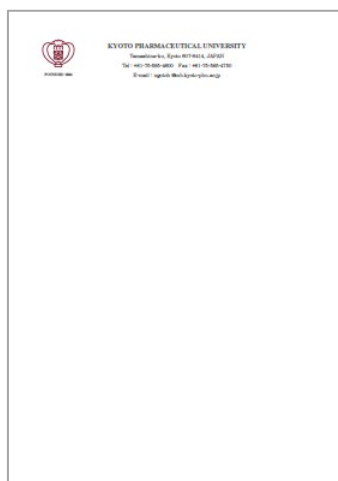
社会を動かす薬学へ。

 **京都薬科大学**



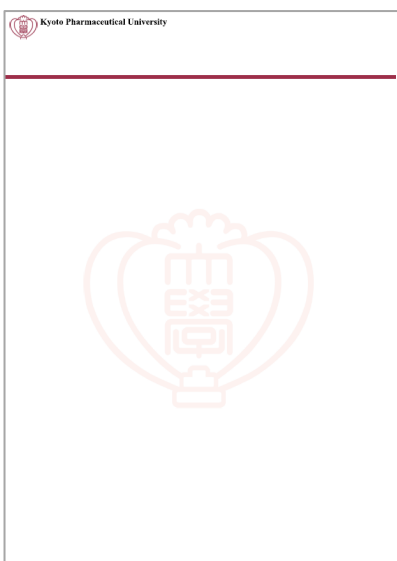
■レターヘッド

大学公式文書として学外へ発信する場合に使用できます。和文ロゴと英文ロゴの2種類あります。なお、海外において英文ロゴのレターヘッドは、各分野等から発信される場合においても大学公式文書として取り扱われますので、適切な用途を踏まえてご利用ください。



■ポスターテンプレート

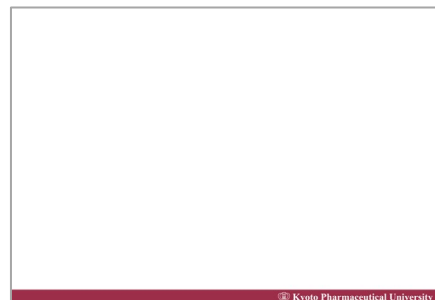
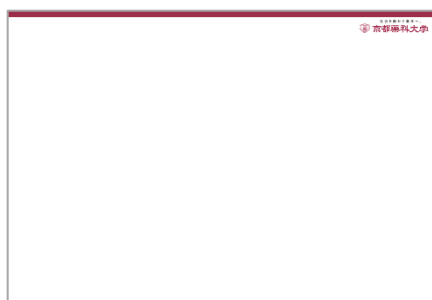
学会発表の際などに使うポスターデザインのテンプレートです。4大学連携研究フォーラムでのポスター発表では、本学からの出展はこの様式で統一しています。



ヘッダーの幅は120mm、140mm、160mm、180mmの4種類あります。

■プレゼンテーションテンプレート

パワーポイントで作るスライドショー等で使用するテンプレートです。用途に応じてご活用ください。



以上